

南大分地域まちづくりビジョン フォローアップ会議 通信 第4号

発行：令和5年2月3日 南大分地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の目的

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、それぞれの地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取り組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」が策定され、平成30年7月に市長に提言されました。

地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため「地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、取組状況を報告し、各取組の今後の進め方や課題などについて情報共有、意見交換を行うものです。

南大分地域まちづくりビジョンフォローアップ会議

- 令和4年11月22日(火)18:00～
- 南大分公民館 多目的ホール



～地域の将来像(コンセプト)～

後世に自慢できる住みたくなる街、みなみおおいた

《将来像実現に向けた提言》

提言1：道路をはじめとする生活基盤の整備・充実

道路環境の改善や、JRやバスといった公共交通機関の利便性の向上が図られることなどにより、居住する高齢者や子どもをはじめとする交通弱者の安全・安心が確保されるとともに、誰もが快適に移動できる公共交通体系が構築されることを望みます。

【提案事業(4事業)】

交通渋滞の緩和対策、高齢者に優しい公共交通網整備、安全・安心な道路整備、コミュニティバス事業

提言2：人が集い、人が繋がる地域コミュニティの形成支援

住民交流はもとより、伝統文化の継承や災害対応、子育てや子どもたちの学びの観点から、幅広い世代が集える場として地域コミュニティの拠点を整備するとともに、地域の多様な主体が繋がり、住民自らが地域の課題を発見・認識・共有し、解決していくための取組について支援を望みます。

【提案事業(8事業)】

各校区公民館の新設、南大分公民館の移転・新設、子どもと高齢者のふれあい事業、南大分地区各種団体連合会、中学生と高齢者のペア活動による安全確認、地域住民同士の交流の促進、子どもから高齢者まで健康なまちづくり、河川を活かしたまちづくり

提言3：郷土愛の醸成と豊かな歴史・文化を活かした魅力発信

住民が改めて郷土の素晴らしさを認識し、愛着を深めるとともに、本地域の地域資源である歴史文化を活かし、地域外に本地域の特性と魅力を発信するための取組について支援を望みます。

【提案事業(1事業)】

旧跡めぐりサポーターの育成

■地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況について(抜すい)

提言1 「道路をはじめとする生活基盤の整備・充実」

- (R4～R5) 市道城南小学校線道路改築事業
- (R4～R5) 市道城南団地北・南北線、市道三ヶ田・畑中線安全対策事業(路面標示)
- (R4～) 豊府校区公民館の新設に関する地域の要望活動(豊府幼稚園(R3～休園中)が廃園となった場合)
- (継続) 県道小挾間大分線の拡幅について県に対し一層の働きかけを実施



提言2 「人が集い、人が繋がる地域コミュニティの形成支援」

- (R3～) 中学生ボランティア隊の隊員を対象に「夏休みボランティア研修」を実施
- (R4) 8月の「みなみおおいた夏祭り」が規模縮小ながら3年ぶりに開催。祭りでは、中学生ボランティア隊がアンケート協力者に人権啓発うちわ及び風船を配布。(初の屋外活動)
- (R4) 「みなみおおいた発見! 歩く Day」も3年ぶりに開催(3コース・61名が参加)
- (継続) 高齢者等とボランティアによる「通学路見守り隊」活動(全4校区)



中学生ボランティア隊(みなみおおいた夏祭り)

提言3 「郷土愛の醸成と豊かな歴史・文化を活かした魅力発信」

- (R4) 「みなみおおいた発見! 歩く Day」において、地域まち講座受講生が一部の史跡で地域ガイドとして対応
- (継続) 公民館の地域まち講座「みなみおおいた発見!」の実施(年8回)



みなみおおいた発見! 歩く Day

■事前アンケートの結果について(対象:フォローアップ会議委員)

本会議の活性化を図るため、地域まちづくりビジョンに掲げる13の提案事業について、委員の関心度やそれに対する意見を事前にお伺いするアンケートを今年度初めて実施しました。

【13の提案事業のうち、関心が高かった上位3事業】

順位	事業名	主な意見
1位	安全・安心な道路整備	南大分地区は道路や歩道が狭く、ガードレールなども少ないため、交通安全上危険な箇所が多い。
2位タイ	地域住民同士の交流の促進	新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきたので、イベント等についてはできることから再開していきたい。
2位タイ	南大分公民館の新設	現在の南大分公民館は入り組んだ場所にありアクセスしにくいので、開けた幹線道路沿いが望ましい。また、学生や一般人が利用しやすいよう学習スペースや図書室を充実してほしい。

※上位3事業以外についても多くのご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

また、その他として「地域まちづくりビジョンに掲げる項目以外でも実施中又は実施予定の事業等があるのではないか」とのご意見をいただきましたので、南大分地域の上下水道の整備計画やその他の道路関連工事などの概要について説明いたしました。



通学路見守り隊

【問い合わせ】南大分公民館 TEL: 544-6688 ■本閲覧物は南大分市ホームページにも掲載しています。

意見交換の要旨

委員の意見

事務局の回答

提言 1 について



県道小狭間大分線は交通渋滞が日常化しています。市を通じて県に早期改善の要望をしていますが、なかなか状況が変わりません。現在県ではどのような対応をしていますか？

渋滞対策については、国県市など関係機関で構成する渋滞対策協議会で協議しています。県道小狭間大分線の整備については毎年県に要望しておりますが、今後も粘り強く整備の要望をまいります。



大道トンネル～三ヶ田町バス停間に横断歩道がないため、歩行者や自転車が横断歩道のない箇所を横断していることがあり大変危険です。歩道橋はありますが、バリアフリーの観点からも横断歩道を設置すべきではないですか？

横断歩道が設置されていないのは、交通量などさまざまな要因があるとは思いますが、関係部局に確認した上で改めて回答させていただきます。

提言 2 について



南大分公民館の中学生ボランティア隊事業への参加は、現在希望者のみとなっていますが、より多くの生徒にボランティアの経験をしてもらえるよう、学校活動の一環としてボランティア活動ができないかと考えています。



地域愛を育てるためには、中学生以下の世代から地域ボランティア活動を体験することが大切だと思っています。中学生が郷土の歴史や災害時の対応などを学んで地域の中で活躍できれば、10年後20年後の南大分は大きく変わると思います。



今、地域では高齢のボランティアが高齢者を助ける「老老」の状態となっています。今後地域を支えていくためには若者の力が必要不可欠なので、若いうちからボランティア活動ができる環境を作ってもらいたいです。

中学生ボランティア隊については、コロナ禍もあり十分な活動はできていませんが、多くの中学生にボランティア体験をさせたいという思いはすばらしいと思います。中学生は、未成年であることや学生でもあり活動範囲や活動内容などについてさまざまな制約はあると思いますが、今後協議させていただく中で、何ができるのか検討してまいります。

全体をとおして



国道442号の明礪橋～田中三差路間の歩道に100本以上のイチヨウの木が植えられていますが、この間は歩道が狭い上にイチヨウの根が舗装をせり上げてでこぼこになっている箇所が多数あるため、大変危険です。県と市の担当者が現地調査に来てくれましたが、今後の工事予定などは決まっていますか？

県に問い合わせたところ、事業化に向け調整中であるとのことでしたが、県に対して今後も地元と調整する中で改良を進めるよう依頼します。

たくさんのご意見ありがとうございました！



会議を終えて（まとめ）

今年度のフォローアップ会議の開催にあたり、より活発な意見交換となるよう初の試みとして全委員（15名）を対象とした事前アンケートを実施した上で開催いたしました。（集計結果は裏面をご覧ください。）

その結果、地域まちづくりビジョンの提案事業に関し幅広く多くのご意見をいただくことができました。

中でも中学生を含む地域ボランティアに関する意見が多く出され、地域におけるボランティア活動のあり方などについて今後地域ぐるみで議論する必要性を感じました。

また、南大分公民館の機能充実や、本地区には未設置の校区公民館の新設などについても各地域から要望が出てきており、地区館・校区館の役割分担なども含めた公民館の適正配置について検討していく必要があると考えています。

せまい道路や歩道などのハード面も含め課題は山積しておりますが、今後とも地域の皆さまと連携し、地域まちづくりビジョンに掲げる将来像実現に向け引き続き取り組んでまいります。